

【日 時】 平成 26 年 3 月 7 日

【訪問先】 大道中学校 木田茂樹校長

【概 要】 児童数 546 名 17 学級 各学年 5 学級 特別支援学級 2 組 教職員数 33 名 職員 2 名

【視察報告】

1. 校長先生のモットー

『可能性を信じよう』卒業生にいつも言っている言葉。
自分自身でしっかりとした目標を持って、自分に自信を持って
自分自身の無限の可能性を信じて伸びて行って欲しい。

2. 英語・国際教育の取り組み

日本語にとっても苦勞していた生徒が、努力によって日本語を
習得して定時制高校に入学できた。通訳ボランティアにも協力
してもらい周りもサポートしたが本人の努力には感銘を受けた。
JICA との交流で海外留学生を招き、外国の文化を知る。

3. 地域のボランティアの協力

近隣の熱心な町内会長が毎日学校の周りを巡回し、学校にも頻繁に出入りして助けてくれている。
中学校になると部活も忙しく、地域活動にはなかなか参加できないが、防災などではもっと協力すべきとは思っている。

4. 地域との防災の取り組み

防災拠点として、校内のふたつの教室を防災備蓄庫にしているが、
定められた備蓄品のほかに町内会で購入した備品類も備蓄している。
町内会長の尽力で備蓄庫は完璧に整理・分類されている。

5. 道徳教育や郷土愛を育む取り組み

校外学習としての職業体験は市内の全中学校で取り組んでいるが、
保育園・幼稚園・コンビニ・ファミレス・病院・自衛隊・ケアプラザ・鉄道会社・運送会社・工場・美容室・
警察署など多岐にわたるが、地域の協力も得て行っており、学校では学べない強烈な体験が出来ている。

6. 体力強化や部活動の取り組み

新体操・剣道・バスケット・吹奏楽・バトントワリングは全国レベル。
部活が体力強化の一翼を担っている。
昨年の創立 50 周年のイベントでは、卒業生で元 NBA の田臥勇太
選手、なでしこジャパンの矢野喬子選手が講演をしてくれた。2 人
とも大道中学校への愛校心を語ってくれてうれしかった。

7. 学校組織の強化・人材育成

学区内の大道小・朝比奈小・六浦南小・高舟台小の 4 小学校とは常に連携を図り、入学時のギャップがない
ように務め、交流を図っている。

8. その他

スマホによるネットいじめは見つける方法もなく、発覚して問題にならなければ実態は分からず困っている。
保護者に対しても、買い与えない・子供とルールを作る・フィルタリングをかける・提起的にチェックする
といった対応をしてもらうよう指導しているが、一部の親や子供は『情報モラル』の意識が欠けている。

【所 感】

大学院生との交流プログラムでは、高等教育を受けることの意義などが学べ、
勉強をするモチベーションに繋がると感じた。

地域の町内会長のリーダーシップで、地域との交流が進められており、特に
普段から災害時にいかに対応するかの訓練が徹底されていて、安心・安全な
体制が整えられていると感じた。

